

事業所名

あいゆうはうす ひなた

支援プログラム

作成日

2025 年

3 月

3 日

法人（事業所）理念	一人ひとりに寄り添い”こころ”と”からだ”で感じることを大切に。 みんなが居心地のいいあたたかな場所であることを目指します。								
支援方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ひとりひとりの個性に合わせた支援を提供します ・児童にとって安心して過ごせる場所となる環境の提供をします ・五感を通じた様々な体験の提供をします ・保護者の気持ちに寄り添い連携を図り一緒に児童の成長を見守ります ・児童の自立した生活を目指して長所を伸ばし、課題となる部分はサポートして自身で補える力をつけていきます 								
営業時間	10 時	0 分	から	18 時	0 分	まで	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・バイタルチェック及び全身の状態の把握を行い、異常の早期発見、対応をします。意思表示困難な児童に対しては本人の特性を考慮してきめ細やかな観察、対応をします（てんかん発作、体温調節、排泄の時間等） ・基本的な生活リズムと情緒の安定、又日常生活に必要となる行動をスムーズに取り組めるよう時計、排泄、整頓、手指の使い方、お金、清潔に保つこと等を個別対応していきます。 							
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・活動を通し身体機能の維持、向上を図ります。 ・五感を十分に活用できるようなレクリエーションやイベントを企画しそれぞれの感覚の偏りに配慮した支援をしていきます。 ・発達に気になる児童や多動でエネルギーが豊富な児童に特に楽しみの一つになる感覚遊びを取り入れることで感情の発達や気持ちの安定に繋がります。 							
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・日々の活動やレクリエーションにおいて、視覚、聴覚、触覚等を用いて情報入力します。それぞれの児童の特性に合わせたアプローチを選択します。認知した情報を行動に移せるようサポートします。 ・四季事に行事やイベントを通して、その行事にまつわる出来事や習わし等を理解し、雰囲気を楽しむ、日本の伝統を楽しむ経験をしていきます。 							
	言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・児童ひとりひとりの気持ちに寄り添い、汲み取り、共有・共感することでコミュニケーションへの自信に繋がります。 ・家庭、学校と連携しそれぞれに適した言葉や絵カード、ジェスチャーなども用いてコミュニケーションの幅を広げます。 							
	人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びや活動を通し共有・共感することで児童とスタッフは信頼関係を築くことから始めます。信頼関係の下、情緒が安定し社会性への発達へ繋がります。 ・地域の活動や地域の方との交流も支援します。 							
家族支援	事業所での支援の様子をご家庭と共有することで、より良い支援に繋がっていきます。SNSを利用して児童の様子を共有しています。ご家庭や学校での出来事等の悩みにも真摯に向き合い、解決の糸口となるよう心がけています。					移行支援	高校卒業後の進路、小学校卒業後の進路を学校、相談支援事業所と連携し、児童のライフステージの変化に合わせて支援していきます		
地域支援・地域連携	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の行事に参加 ・地域にある公的施設の利用 ・地域の方の事業所イベント参加の依頼等 					職員の質の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・毎朝日々の療育の振り返りや改善点の共有 ・職員全体会議 ・定期的な事業所内研修、外部研修・リモート研修等への参加 		
主な行事等	1年を通して季節に合わせた行事を実施しています。 (春)ひな祭り、お楽しみ会、午後の節句、交通安全教室 (夏)七夕会、水遊び (秋)お月見会、ミニレク、ハロウィン、秋探検 (冬)クリスマス会、お正月遊び、節分								